



掲載しきれないイベントの情報などは
下関市公式SNSで配信中！



下関市の活性化に関する 産官学包括連携協定締結

下関市、唐戸商店会、ここはれて、慶応義塾大学大学院メディアデザイン研究科、YMFG ZONEプランニングが相互に連携を強化し、商工業の振興や地域の活性化を図るため、協定を締結しました。今後、ここはれてが唐戸商店街内に小規模の店舗が20店以上入居する施設を建設する計画を検討しています。この施設で創業や事業育成支援などをサポートし、地産地消も推進していく予定です。ここはれての杉村太蔵社長は「意欲的な方々と一緒に下関を盛り上げたい」と話しました。



市立大学初のネーミングライツ 施設誕生

市立大学で初となる学内施設のネーミングライツ協定を、山口県下関自動車学校と締結。体育館が「SDS下関 ドライビングアリーナ」と命名され、5月に記念式典が行われました。式典に出席した下関自動車学校を運営している山口県交通安全協会の福原利夫専務理事は「たくさんの学生に、運転免許取得のため教習を受けていただいているので応募しました」と、話しました。協定期間は3年間です。市立大学では、他にも施設の命名権の公募をしています。



下関が生んだ作家 赤江瀑氏の文学碑除幕

下関が生んだ作家、故赤江瀑氏の文学碑が極楽寺に建立され、6月11日に除幕式がありました。全国から駆けつけたファンや関係者らが出席、献花などを行いました。「赤江美学」と称される日本の伝統美を取り入れた世界観にちなみ、今様も奉納されました。



3年ぶり運航のホタル舟を 小学生が清掃

木屋川を下るホタル舟が運航される前に、西市小学校と豊田下小学校の児童44人が、舟を掃いて雑巾で拭いたり、乗船場の苔をブラシでこすったりしました。児童の地元への愛着を深めるため、毎年行われていましたが、3年ぶりの清掃活動となりました。

